

一般社団法人メディカルライス協会を設立しました。

メディカルライスとは、コメの機能性成分を数量的に定義して病気の予防や治療に用いようというもので「治未病」を大きな目的としています。例えばグリセミックインデックスが55以下の糖尿病用メディカルライス、タンパク質が20分の1以下の慢性腎疾患用メディカルライス、高 γ -アミノ酪酸、 γ -オリザノールあるいは高フェルラ酸の認知症用のメディカルライス、高い抗酸化能をもつがん予防のためのメディカルライスなどがあります。玄米は食物繊維やミネラル、ビタミンに加え γ アミノ酪酸やフェルラ酸などの機能性物質が多く含まれ、抗酸化能もあって、腸内細菌叢を良好にし、免疫能を高め、健康の維持増進に役立つメディカルライスです。玄米が食べられない人は表層のワックスを除去した玄米も利用可能である。しかし、医療関係者との共同研究は停滞していて、エビデンスとなる臨床試験は少ないため、研究の相談にも応じる予定です。

メディカルライス協会はコメの生産、加工、消費者、研究者を結集し、規格の標準化やエビデンスを基盤として疾病予防や食事療法への適用を図ることを目指しています。日本では米の消費拡大や輸出の促進を図るため付加価値をつけたコメの生産が求められていますが、これにより国際的競争力も強化されると考えています。当協会は、将来の研究者の育成ために助成金制度も設ける予定です。

ロゴマーク

2014年に京都で開かれた東アジア米機能標準化カンファレンスでつくられました。それ以後メディカルライスの構想が国際的に検討されています。



写真はメディカルライス協会設立記念講演会

前列右から、大東肇京大名誉教授、吉川敏一副理事長、渡邊昌理事長、大坪研一副理事長、雑賀慶二理事（東洋ライス社長）

